

校長通信

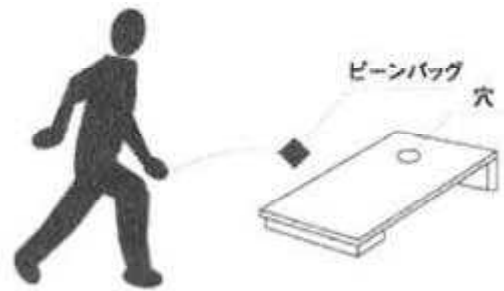
令和6年度 6号 令和6年5月16日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

昨日、1学期中間テスト、無事終了しました。今日から、テスト返却がありますが、いつも言っているとおり、得点だけにとらわれず、正解できなかった問題を中心に見直し、次に生かしてほしいと思います。保護者の方々も、今回のテストについて、子供さんのがんばったところなどを中心に、各ご家庭で話し合っただけいたら幸いです。

《育友会親睦バグー大会、盛り上がりました！》

5月11日、育友会主催バグー大会が本校体育館で開催され、楽しいひと時を過ごし、会員間の親睦を深めることができました。育友会保健体育部長さんが中心となり、大会の準備、運営を進めていただきました。チーム編成を兼ねた、アイスブレイク活動で、二人チームをつくり、チームメート同志で、話し合い、お互いの

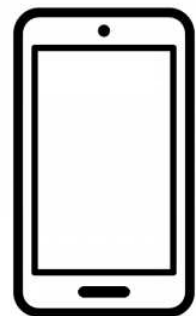


の共通点を見つけ、それを全員に発表する活動を行いました。チームメート同志、楽しく話し合いができて、和やかな雰囲気になりました。準備体操では、和歌山弁ラジオ体操で、楽しく体操できました。号令がコテコテの和歌山弁で、おもしろかったです。

試合がスタートして、参加された方々は、小学生から59歳の大人まで、真剣になって、6メートル先のボードにある穴をめがけて、ビーンバグと呼ばれるお手玉のようなものを投げていました。白熱したゲーム展開で、勝っても、負けても笑いが絶えない、楽しいひと時を過ごしました。保健体育部長さん、会長さんを始め、参加された方々お疲れさまでした。

《長時間スマホ 家庭学習が水の泡！》

5月1日の毎日新聞で、標記の題で記事が掲載されていました。それによると、スマートフォンやタブレット端末を長時間使う子どもは、家庭学習をいくらがんばっても伸び悩むということです。人が何かを学んだり想像したりしているとき、脳内では「思考の脳」と呼ばれる部分が働くそうですが、デジタル機器の小さい画面や映像を長時間見ると、この「思考の脳」と呼ばれる部分の活動が抑制されてしまうそうです。



スマホやタブレットは便利なものですが、使用時間を決めるなどして（例えば一日一時間以内など）、長時間使用しないよう工夫しないと、せっかく学習をしても、その成果がむだになってしまう可能性が高いということです。気をつけましょう！